

新聞販売業における 労働災害防止対策

新聞販売業における主な労働災害は**交通事故**です！



危険を予知して『新聞配達ヒヤリマップ』を作成しましょう！！

栃木労働局 各労働基準監督署

ホームページアドレス

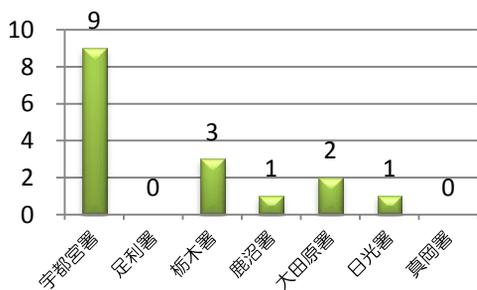
<http://www.tochigi-roudou.go.jp/>

新聞販売業における労働災害発生状況等について

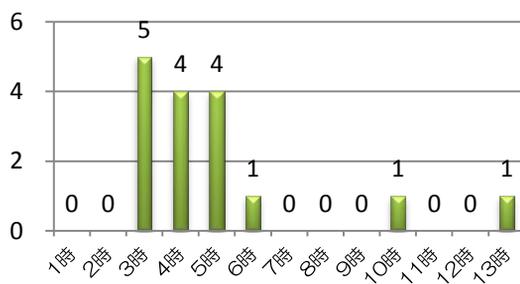
商業における死亡労働災害は、平成15年から平成25年までの約11年間に36件発生し、その内交通事故によるものが27件（75%）、新聞販売業においては16件発生し、そのうち15件が交通事故によるものである。

死亡災害の内容は次のグラフのとおり

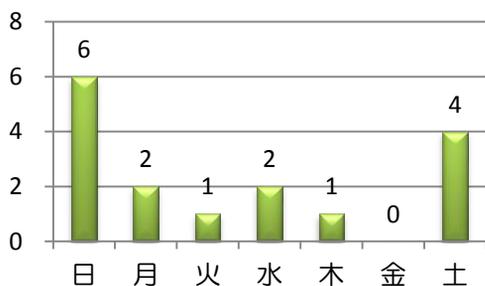
監督署別



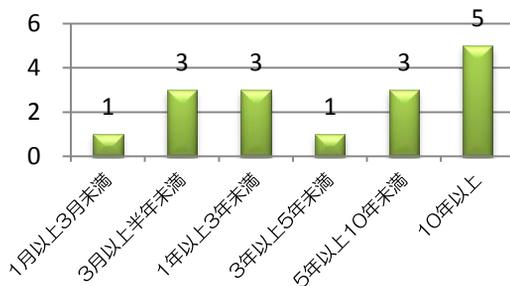
時間帯別



曜日別



経験年数別



再発防止対策

- ① 新聞配達区域の危険箇所の洗い出しによるヒヤリマップの作成及び周知
- ② 交通ルールを順守するため、ヒヤリマップの活用等による安全教育の実施
- ③ 危険予知(KY)活動による、交差点での左右確認等の安全確認の励行
- ④ 新聞配達時のバイク運転中のライトの点灯及び、蛍光ベルトの着用等目立つ格好での走行による安全の確保
- ⑤ 余裕ある作業時間の確保による安全行動の励行
- ⑥ 交通労働災害防止のための管理体制の確立 ～ガイドライン～
- ⑦ リスクアセスメントの実施による労働災害の防止

以上の項目を、事業者等の経営首脳者が中心となって、継続的・計画的に実施することで、事業場の安全衛生を確保しましょう。

新聞販売業における労働災害事例

事例1 見通しの悪い交差点にて、激突された

1.発生状況 被災者は、バイクに乗り新聞配達作業中、信号機のない交差点で一旦停止し発進したところ、右側からきた軽自動車に激突され全身を強く打ち死亡したものの。

2.原因 ・一時停止、徐行等の安全確認が不足していた。

3.対策 ・見通しの悪い交差点は、停止線で一時停止し、その後徐行により交差点に近づく等、十分な左右確認（安全確認）を行うこと。



事例2 縁石に接触・転倒した

1.発生状況 被災者は、バイクにて朝刊を配達している際に、誤って路上の縁石に接触し転倒、頭部を強打したものの。

2.原因 ・運転方法・運転姿勢に誤りがあり、安全に過信していた。
・対処方法に対する教育が不十分であった。

3.対策 ・安全運転に関する教育を繰り返し、計画的に実施すること。
・新聞配達ヒヤリマップを活用し、危険箇所を洗い出し、安全運転等を周知徹底すること。



事例3 階段でバランスを崩し、飛び降り負傷した（負傷災害）

1.発生状況 被災者は、朝刊を配達しマンションの階段を降りていたところ、バランスを崩し飛び降りた際に足首を骨折した。

2.原因 ・階段を下りる際、手すりを使用しなかったこと。

3.対策 ・新聞束を持って階段を昇降する際は、出来るだけ片手（袋を使用する等）で持ち、空いた手で手すりを使用する、またはカベ際を昇降すること。





1. バイク運転中の交通事故を防ぎましょう

- (1) 交通事故の多くは、朝刊配達時のバイク運転中に交差点等で、自動車と衝突することなどにより発生しています。
- (2) その他、運転中の対向車線へのはみ出し、前方不注意、バランスを崩しての転倒事故等が発生しています。

「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った対策を進めましょう

1. 労働災害防止は事業者の責務です。事業者は、対策を積極的に推進しましょう。
2. 労働者は、事業者が行う安全対策に協力し、交通労働災害防止に努めましょう。
3. 事業者は労働者に対して、雇入れ時教育、日常の教育を徹底し、交通法規の遵守の徹底を図るとともに、交通労働災害防止のための知識を付与しましょう。
4. 事業者は、交通事故発生情報、ヒヤリ・ハット事例に基づき、新聞配達ヒヤリマップを作成し、配布・掲示、啓発等を行いましょ。
5. 事業者は、異常気象時には、走行の中止や安全な場所で一時待機する等労働者に適切な指示を行いましょ。



2. 配達、集金中の転落・転倒事故を防ぎましょう

転落・転倒災害防止のポイント

1. 事業者は、労働者に滑り止めのある靴を履かせて業務を行わせましょ。
2. 事業者は、時間に余裕のある配達計画を作成し、労働者が慌てることがないように業務を行わせましょ。
3. 階段の上り下りは、荷物等（配達中の新聞束も同様）を出来るだけ片手で持ち（袋を使用する等）、手すりを使用するか若しくは壁際を昇降しましょ。
4. 事業者は、転落・転倒事故が発生した場所の情報、ヒヤリ・ハット事例に基づき、交通事故と同様にヒヤリマップを作成し、配布・掲示、啓発等を行いましょ。

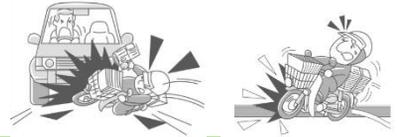
新聞配達ヒヤリマップ

を作成しましょう！！

交通事故の発生原因にはいろいろなケースがありますが、新聞配達中の「ちょっとした不注意」、「安全に対する過信」、「だろう運転」などにより、死亡災害が多く発生しています。辛うじて一命が助かるという場合もありますが、せき損等重篤な後遺症で苦しむこともあります。事故にならなくとも「ヒヤリ」とか「ハット」を経験したことは誰しも持っていることと思います。

そこで、このような交通事故を起こさないために、各販売店での労働災害防止対策（交通労働災害防止対策）の一環として、全員で新聞配達時における危険箇所の洗い出しを行い、その対策や注意すべき事項などを確認することが効果的です。

安全で健康な新聞配達ができるよう「新聞配達ヒヤリマップ」作りに積極的に取り組んでください。

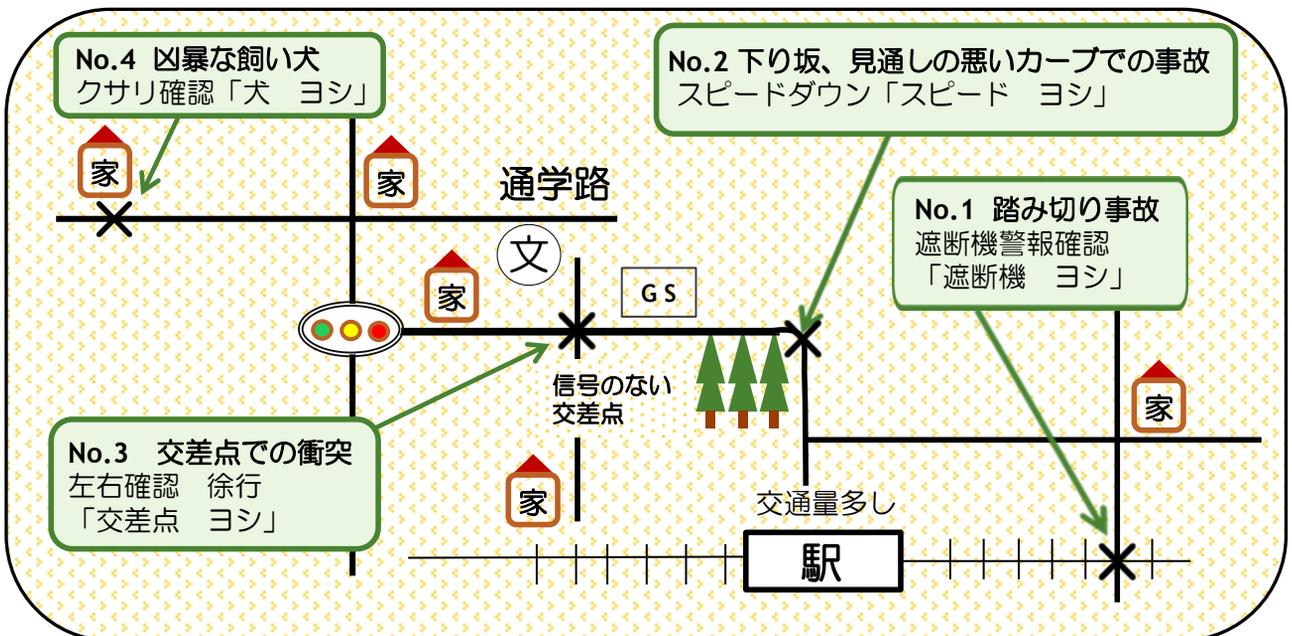


以下にヒヤリマップの作成手順と作成例を示します

項目	内容
① 新聞配達区域マップを配布	・ マップを新聞配達員全員に配布する
② 配達経路を記入	・ 各人の配達経路は太い線 ・ 脇道は細い線 ・ 信号などの必要な地図記号を記入
③ ヒヤリ箇所を記入	・ ヒヤリ箇所に×をつけ、番号で順番を記入
④ 対策と確認事項を記入	・ 作成したマップを新聞配達員全員に配布する

(注)季節、朝刊及び夕刊等で危険要素、危険場所も違うので、定期的に見直すことが必要です。

新聞配達ヒヤリマップ（例）

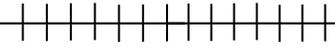


新聞配達ヒヤリマップ

経路 自宅→新聞店→配達先 _____ 氏名 _____

所要時間 _____ 分 _____ km _____ 作成年月日 _____

記号を入れてわかりやすく！

- | | | | |
|----------------------|---|-------------|---|
| 配達経路・・・・・・・・ |  | バス停・・・・・・・・ |  |
| | (出発点) (到着点) | | |
| 道路地図（白地図）のうえにおくときは破線 |  | 川・・・・・・・・ |  |
| 十字路、三叉路・・・ |  | 学校・・・・・・・・ |  |
| 信号・・・・・・・・ |  | 郵便局・・・・・・・・ |  |
| 踏切り・・・・・・・・ |  | ガソリンスタンド・・・ |  |
| 駅・鉄道・・・・・・・・ |  | 駐車場・・・・・・・・ |  |

新聞販売業における死亡災害の概要（抜粋）

（平成15年～平成26年4月末現在）

発生年	発生日	事故の型	年齢・経験年数	災害の概要
	時間帯	起因物	事業場規模	
H15	1月	交通事故	50歳代・10年	被災者は、県道を配達のため原付バイクで走行中、前方を歩いていた競馬うまに追突し、転倒した。その際、腹部を強く打ちつけ死亡したものの。
	4～5時	乗用車・バイク	10～49名	
	9月	交通事故	70歳代・35年	被災者は、集金のためバイクで道路を走行中、信号機のない交差点において、交差点左側から走行してきた乗用車と出会い頭に衝突し、全身打撲等により死亡したものの。なお、被災者側の道路に一時停止の標識があった。
	10～11時	乗用車・バイク	10～49名	
H18	4月	交通事故	60歳代・7年	被災者は、バイクにて新聞配達業務中、国道を走行していたところ何らかの原因で転倒し、路上に倒れこんでいたところ、後続してきた乗用車に轢かれたものの。
	3～4時	乗用車・バイク	1～9名	
H19	9月	交通事故	50歳代・2ヶ月	被災者は、バイクによる新聞配達業務が終了し、帰宅途中に何らかの原因でセンターラインをオーバーし、対向車線に出たところ、対向してきた大型トラックに衝突したものの。
	6～7時	乗用車・バイク	10～49名	
H22	3月	交通事故	50歳代・5ヶ月	被災者は、原付バイクにて朝刊の配達中、緩やかなS字カーブにさしかかる付近で道路沿いの川に転落し、その時の衝撃で頸椎を骨折し、死亡したものの。
	4～5時	乗用車・バイク	1～9名	
H24	6月	墜落・転落	60歳代・4年	被災者は、アパート2階に住むお客さん宅へ新聞を配達したあと、高さ3m16段の階段を下りる際に、足を踏み外し、頸椎を損傷し死亡したものの。
	3～4時	階段・さん橋	10～49名	
	8月	交通事故	50歳代・2年	被災者は、新聞配達のため原付バイクにて走行していた際、右折のため片側1斜線のセンターラインに近づいたところ、後方から時速約100kmで走行してきた乗用車に追突されたものの。
	4～5時	乗用車・バイク	10～49名	
H25	2月	交通事故	70歳代・25年	被災者は、道路北側のお客さん宅に朝刊を配達したあとに、道路を挟んだ向かい南側のお客さん宅へ配達に行こうとしたところ、T字路を南側から右折してきた軽トラックに轢かれたものの。
	4～5時	乗用車・バイク	10～49名	
H26	1月	交通事故	50歳代・6年	被災者は、朝刊配達中、国道にて配達先の民家に入るためウィンカーを出し右折しようとしたところ、後方から走行してきた乗用車に追突されたものの。
	3～4時	乗用車・バイク	10～49名	

『いってきます』から
『ただいま』まで

ご安全に！！

